

Harmony

vol.202

2025
冬号



透析のプロフェッショナルたち

あなたのライフスタイルに 対応した透析を スペシャリストたちがサポート



院長 血液浄化療法センター長

真鍋 康二

日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医・指導医

日本腎臓学会認定 腎臓専門医・指導医

日本透析医学会認定 透析専門医・指導医

昨年（2024年）に開院45年を迎えた当院は、開設時から末期腎不全の血液浄化療法に取り組んでおり、現在、128台の透析用監視装置（コンソール）を有し県内最多の約370名の患者さんの血液透析を行っています。

開院当初に腎不全の原因の大半を占めていた慢性糸球体腎炎は、医学の進歩により治療可能な病気となり、透析に至る患者さんは減少しています。一方で、糖尿病・高血圧・癌といった生活習慣病による透析患者さんは増加し、また透析導入年齢の高齢化が進み、多疾患を持つ患者さんが増えています。

このような透析患者さんの変化に対応して、当院の血液浄化療法センターでは様々な職種の経験豊富なスタッフが協働し、チームで患者さんと密にかかわりサポートする体制を整えています。



熟練のオペ技術でシャントの閉塞を防ぎ 透析患者さんのQOL向上へ

ダイアライシスアクセスセンター長

櫻間 教文

日本外科学会認定 外科専門医・指導医

透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会 VAIVT認定専門医

「バスキュラーアクセスをいかに長持ちさせるか」は、透析患者さんのQOL向上に関わる大切な問題であり、私たちはこの問題に包括的に取り組んでいます。当センターでおこなわれている手術は9割がシャント修復術となっており、修復困難症例の最後の砦として腎移植を除くすべてのバスキュラーアクセス関連手術をおこなっています。ベッドサイドでは、スタッフが「触診」「聴診」だけでなく、静止静脈圧測定、バスキュラーアクセス管理パス等での血流測定など総合的所見からアクセストラブルの早期発見に努めています。また定期的なエコー検査によりバスキュラーアクセス機能を評価し、アクセス狭窄・閉塞など多種多様なトラブルを早期に発見できるようにしています。

経皮的血管形成術(PTA)

1093件

内シャント関連手術

206件

2023年実績

腎不全看護認定看護師として 患者さんや家族に寄り添う

血液浄化療法センター 看護課長
産賀 知子
腎不全看護認定看護師
腎代替療法専門指導士

腎不全は多くの場合、ゆっくり進行する病気であり、治療法の選択や生活習慣が患者さんの健康や生活の質に大きく影響を与えます。腎不全看護認定看護師は、患者さんやご家族の権利を守りつつ、最適な意思決定を支える役割を担っています。私たちは、患者さんが自身の価値観や目標に基づいて治療法や生活プランを選べるよう、わかりやすい情報提供を行い、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を活用して希望を引き出すサポートをしています。ここでいう目標とは、医療的な目標ではなく「家族とカラオケに行く」「同窓会に出席する」など、身近で具体的な生活目標の事です。

これらを実現するため、栄養管理やリハビリ支援、透析効率改善などのケアを提供しています。また安心して生活できるよう多職種の「チーム医療」で支援しています。今後も多職種が連携し安心安全な透析医療を目指し、チーム全体の質向上に努めてまいります。



データに基づいたCKD-MBDチームの透析管理

透析患者さんにとってカルシウムとリンの値は非常に重要です。慢性腎臓病(CKD)が進行し、これらの値が上昇すると骨ミネラル代謝異常(MBD)が起こり、骨や副甲状腺異常や、血管が石灰化するなどの症状が現れます。この血管の石灰化を抑えるためには、食事・薬物療法が大変重要となります。

当院のCKD-MBDチームは医師に加え看護師3名、臨床工学技士6名により構成されています。チームの

臨床工学技士は月に2回採血項目、透析条件、薬のデータを患者さん毎に、まとめています。これらのデータを参考にカルシウムとリンの値が数値目標を達成できるよう、月に1度チームでカンファレンスを行い治療方針の決定などに取り組んでいます。チームの医師は現在約370名の透析患者さん全てのデータに目を通し、特に数値の優れない患者さんには直接ベッドサイドへ伺い、数値の改善に取り組んでまいりました。また他職種のスタッフも日常的にベッドサイドへ伺い、食生活を細かく聞き取り調査しています。食事回数や食事量から、現在処方されている内服薬が至適用量であるか適宜評価を行い、チームで連携し最適な処方を設定しています。

血液データが改善した際、患者さんにお伝えするととても喜ばれ、患者さんのモチベーションアップにつながっています。



透析センターを支える

4職種約100名のスタッフ

看護師	36名	臨床工学技士	45名
看護助手	6名	事務職員	5名

専門的資格(一部抜粋)

- 腎不全看護認定看護師
特定行為実践看護師[透析管理関連](日本看護協会) 1名
- 腎代替療法専門指導士(日本透析医会) 7名
- 腎臓病療養指導士(日本腎臓病協会) 3名
- 透析技術認定士(透析療法合同専門委員会) 46名
- 認定血液浄化療法臨床工学技士(日本臨床工学技士会) 5名

2025年1月現在



透析医療の基盤を支える 臨床工学技士

岡山県下最大128台の透析装置が稼働する血液浄化療法センター。透析装置に加え、透析治療に必要な水を生成する装置や透析液を作成する装置が患者さんに見えないところで多数稼働しています。それら装置の保守管理から点検整備まで一手に引き受け、日々安全な透析治療が提供できるようにしています。

また当院はQOL向上につながるとされる在宅透析、オーバーナイト透析の両方をおこなっている県内唯一の病院です。在宅透析においては、治療や機器に関する問い合わせを24時間いつでもできる在宅透析専用オンコール体制を確保し、安全治療の継続をサポートしています。

安心と効果を届ける、 透析患者さんのための 薬剤サポート

透析患者さんは多くの薬を服用するため、ポリファーマシーにより薬物有害事象や飲み忘れのリスクが増加します。薬剤師は患者さんのベッドサイドを訪れ、薬が処方どおりに飲まれているか、余っていないかを確認し、飲み忘れがある場合は個別に対策を検討します。また、薬の数を減らしたり、服用時間を調整して効果を最大限に引き出せるよう支援します。



透析患者さんの薬のセルフチェック

- 薬を飲むタイミングが分からない
- 飲む時間をよく間違える
- 自分の判断で薬の量を調節することがある
- 薬がたくさん余っている
- 当院以外の薬やサプリメントを飲んでいる
- 薬が飲み込みにくい
- 薬を飲むとムカムカする

当てはまる場合は薬剤師にご相談ください。

病状の評価につながる 適切なタイミングでの検査

透析患者さんの検査は主に「十分な透析が行われているか、体の水分量が適切であるかを評価する」「さまざまな合併症や疾病を早期に発見する」「治療効果を判定する」ことを目的に各検査ごとに適切なタイミングで検査を行っています。病態の変化により追加で検査を行うことで、診断や治療に役立てています。



エコー検査

CT検査

この他にも、血液検査、胸部レントゲン、心電図検査などを行います。

楽しい食事になるように 栄養面でサポート

採血データと患者さんの話をもとに最適な食事アドバイスを提供しています。また、近年施設入所が増加している状況を踏まえ、入所施設の職員向けに食事指導をおこなったり、自宅での食事準備が難しい透析患者さんには持ち帰り弁当をご用意しています。また、低栄養の予防にも力を入れ、栄養状態の改善を目指す声掛けや商品のご案内もしています。患者さんの健康と生活の質の向上をサポートしています。

2025年1月 ある日の持ち帰り弁当



患者さんに大人気のエビフライ弁当
エビフライ・ビーフソテー・かぼちゃとがんもの煮付・白米付き

透析中の運動はこんなメリットが

運動を行うことで血液循環が改善され、透析の効果が高まります。これにより、透析効率が向上するとともに、合併症のリスクを低減することが証明されています。透析中に、軽い重りやゴムチューブを使って足に負荷をかけるトレーニングなどの運動を行うことで、身体全体の調子を整え、体力や筋力の低下を防ぎます。健康運動指導士や理学療法士が透析中に一緒に運動をさせていただいています。



1968年にしげい病院が岡山県初となる透析治療を開始して以来、創和会グループは長年の経験とデータを基に、透析患者さんの多様なライフスタイルに合わせてテーラーメイドの透析を提供してまいりました。また、2024年10月にはJR早島駅から徒歩10分の立地に「しげい腎クリニック早島」が開院し

ました。当院とカルテシステムを共有するなどグループの連携を強めることで、患者さんが必要な時に早期に、円滑に診断・治療を受けることが可能です。

今後も新たなクリニック、そして創和会グループがさらに連携し、よりきめ細やかなサポートを提供できるよう尽力いたします。



入院棟4階は「地域包括医療病棟」になりました

近年、高齢者の救急搬送件数が増加しています。これに対応するため、2024年度の診療報酬改定において新たな受け皿となる「地域包括医療病棟」が新設され、当院の入院棟4階は2024年12月より急性期一般病棟から地域包括医療病棟へと転換いたしました。

地域包括医療病棟は、高齢者をはじめとする救急搬送等に対して一定の体制を整備した上で、リハビリ・栄養管理・退院支援・在宅復帰等の機能を包括的に提供する役割を担う病棟です。特に、高度急性期病院での対応を必要としない、誤嚥性肺炎や尿路感染症など、高齢者に多く見られる軽症や中等症の救急患者さんに対応します。

施設基準では、専従の理学療法士、または作業療法士合わせて2名と、専任の管理栄養士1名など、リハビリや栄養管理を担当する専門職の配置が義務付けられています。

入院中は、早期から患者さんが体力を維持・向上できるように綿密にリハビリテーションや栄養管理を一貫して行います。また、自宅復帰に向けて在宅介護サービスの調整を行い、退院後の生活の質向上を支援します。

高齢者の多疾患併存患者に対し、当院の医師はそれぞれが持つ専門性にとどまらず、総合的な視点から患者さん一人ひとりに適した医療を提供してまいりました。

当院はこれからも高齢者医療に対する知識・技術を最大限に活用し、また診療所や介護施設、高度急性期病院と連携をすすめることで、高齢者医療がさらに充実するよう地域における役割を果たしてまいります。

ご相談・お問い合わせは
入退院支援センター TEL:086-282-5360(直通)

地域包括医療病棟における医療サービスのイメージ



救急患者を受け入れる体制を整備



一定の医療資源を投入し、急性期をすみやかに離脱



早期の退院に向け、リハビリ、栄養管理等を提供



退院に向けた支援適切な意思決定支援



早期の在宅復帰在宅医療、介護との連携

10対1の看護配置に加えて、リハビリ療法士、管理栄養士、看護補助者(介護福祉士含む)による高齢者医療に必要な多職種配置
包括的に提供

厚生労働省「令和6年度診療報酬改定の概要」より抜粋



もっと地球にやさしい 病院になるために 新たな太陽光パネルを設置

2024年12月10日、当院の遊休地に新たに太陽光発電設備が設置され、運用が始まりました。

北口から出て、自動販売機を右に曲がると、急な坂道が現れます。この坂道はまるで森のトンネルのように木々が生い茂り、その先には広場が広がっていました。現在、その広場、2,680㎡(設置面積)には幾枚もの太陽光パネルが並んでいます。

この太陽光パネルは、中国銀行グループの株式会社ちゅうぎんエナジーにとって、岡山県での第1号

案件となるもので、ちゅうぎんエナジーが設置・維持管理を行い、当院はその発電した電力を20年間の契約で購入するPPA方式で運営されます。

新たに設置された太陽光発電設備は、年間約298,100kWhの発電量を見込んでおり、既存の太陽光発電設備(約85,000kWh)と合わせて、病院全体の年間使用電力の約15%を賄うことができます。この発電量は、CO₂排出削減効果として森林面積に換算すると、東京ドーム約5個分に相当します。

この新しい太陽光発電設備は、当院がSDGs(持続可能な開発目標)の目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」を推進する一歩となり、地球に優しい病院へとさらに進化するための重要な取り組みです。

今後も地域への持続的な医療提供とともに、脱炭素化にも貢献できるよう努めてまいります。

ドローンで撮影した動画を
YouTubeで公開中! ▶▶▶



YouTube



アンケートはこちら! ▶

私たちは、さらに皆さまに関心を持っていただける広報誌を目指し、読者アンケートをお願いしています。あなたのご意見、ご感想などを今後の企画に活かしてまいります。是非ご協力いただき、一緒に当院、そしてHarmonyを育てていただければ幸いです。



当院の
日々の様子は
こちら ▶▶



Instagram

外来診察予定表

診療科		受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	糖尿病 腎臓 肝臓	午前	真鍋 内・肝・糖・腎	大森 内・糖・腎	荒木 内科・糖尿病		十川 内科・糖尿病	真鍋 内・肝・糖・腎
	腎臓		大森 内・糖・腎	渡邊 内科	荒木 内科・糖尿病			
	消化器		福島※ 腎(紹介・初診のみ)	瀧 内科・腎臓	福島 腎臓			福島 腎臓
	呼吸器 循環器		藤本※ 内科・消化器 ヘルスケア	西山 消化器	山本 内科・消化器			山本 内科・消化器
	一般外来		丸川 内科・呼吸器	近藤 循環器	丸川 内科・呼吸器			岡 内科・消化器
専門外来	午後	交代医師	交代医師	交代医師		交代医師	交代医師	
要予約			真鍋/荒木 糖尿病・腎臓	藤本※ ヘルスケア		藤本※ ヘルスケア		
健診・検診	要予約	西山	西山	西山		藤本	西山	
内視鏡検査	上部消化管	午前 要予約	岡	山本	藤本		西山	岡山大学医師
	下部消化管	午後 要予約	岡	山本	山本		藤本	
小児科	午前	虫明 河野	虫明 今村	河野 今村		虫明 河野	瀧 虫明	
	午後	交代医師	交代医師	交代医師		交代医師	交代医師	交代医師
小児療育	午前 要予約	今村/河野	今村/河野/川田	今村/川田		今村/河野	今村/川田	
	午後 要予約	今村	今村/川田	今村/河野/川田		今村	今村/川田	
外科	午前	平松	平松	平松		平松	平松	
ダイアライシス アクセス 専門外来	午後 要予約	櫻間	櫻間	櫻間		櫻間		
泌尿器科 脳神経内科	午後	交代医師 眼科 第4月曜日13:30~16:00	太田 皮膚科	太田 皮膚科		岡山大学医師 泌尿器科 13:30~16:00	森 脳神経内科	
皮膚科 眼科								

●内：内科 腎：腎臓 肝：肝臓 糖：糖尿病 ※福島正樹への新規ご紹介につきましては予約が必要で

※ヘルスケア外来の診察時間は月11:00~12:00 水・金15:00~16:00 第4金曜日は休診です

●初診の方は火・水の午前中のみです

●初診の方は月・水・金のみです ●時間外でも可能な限り対応いたしますので電話でお問い合わせください

受付時間

午前 8:30~11:30

午後 13:30~16:30

再診の方は、再来受付機にて8:00より受け付けています

休診日 木曜・日曜・祝日

急病の場合は、あらかじめお問い合わせください

交通のご案内

- 「重井附属病院」行き終下車
- 天満屋バスセンターから ▶ 約40分
 - 岡山駅東口バスターミナルから ▶ 約30分
- タクシー
- JR庭瀬駅から ▶ 約10分
 - JR妹尾駅から ▶ 約10分

140台 当院ご利用の方は、無料



社会医療法人 創和会
重井医学研究所附属病院
〒701-0202 岡山県岡山市南区山田 2117

代表
TEL 086-282-5311
FAX 086-282-5345

入退院支援センター(直通)
TEL 086-282-5360
FAX 086-282-4447

